

## Stanford A 型急性大動脈解離に関する研究

### 1. 研究の対象

2005 年 1 月～2022 年 12 月に当院で Stanford A 型急性大動脈解離に対して手術治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

Stanford A 型急性大動脈解離は緊急に手術を行う必要のある疾患で、多くの場合は救命目的に心臓に近い上行大動脈のみを置換する手術が施行されます。近年その手術成績は向上してきていますが、手術後数年してから残存する大動脈解離病変が拡大し、手術治療を必要とすることがあります。このため、上記の対象患者さんの手術と術後成績を検討して、こうした遠隔期の合併症を減らす手術方法を考案したいと考えています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、CT などの画像情報、手術歴、術後合併症、退院後遠隔期合併症の発生状況等

### 4. 外部への試料・情報の提供

行う予定はありません。

### 5. 研究組織

りんくう総合医療センター 良本政章

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

TEL 072-469-3111

りんくう総合医療センター心臓血管外科

良本政章（研究責任者）